

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2023年4月24日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	西九州倉庫株式会社
所在地	〒857-0851 長崎県佐世保市稲荷町3番7号
代表者役職・氏名	代表取締役 辻 宏成
担当者連絡先	電話：0956-34-6611
	メール：y-tsutsumi@249j.com
ウェブサイトURL	https://249j.com/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は昭和23年に創業した倉庫業者であり、佐世保港を中心として、倉庫業務、沿岸荷役業務、通関業務、外国船舶代理店業務等を行っています。</p>
--

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	倉庫・事務所照明のLED化や空調機器の使用基準に沿った適正な使用で電力使用量削減を図る。(2021年度実績：1,161MWh)	電力使用量を2030年度までに10%削減する。
✓環境 □社会 ✓経済	荷役機械の電気化やアイドルングストップ車への切替えでガソリン使用量削減を図る。(2021年度実績：3.3kl)	ガソリン使用量を2030年度までに20%削減する。
✓環境 ✓社会 ✓経済	社内のデジタル化を促進し、紙資源の使用量削減を図るとともに、業務効率化による働き方改革、多様な人材の登用を促進する。	紙資源の使用量を2030年度までに25%削減するとともに、女性・高齢者・障がい者の雇用者数を増やす

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・差別を禁止する規則を作成している ・社内研修や社内報を通じて、差別禁止への啓発を行っている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメントを禁止する規則を作成している ・社内研修や社内報を通じて、ハラスメント禁止への啓発を行っている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・時差出勤を導入し、長時間労働の防止に取り組んでいる								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	・差別を禁止する規則を作成している ・社内研修や社内報を通じて、差別禁止への啓発を行っている				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・定期的に安全衛生会議及び安全パトロールを実施している			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・メンタルヘルス相談窓口を設けている ・【予定】ストレスチェック制度の導入			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・多様な人材(女性・外国人)の確保に努めている ・自衛隊と連携して、高齢者の人材確保に努めている					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・定期的に階層別の社内研修を実施している ・外部講習の受講や各種資格の取得など、教育訓練の機会を従業員に提供している ・【予定】自己啓発・資格取得応援制度を整備する				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	・同一労働・同一賃金労働ガイドラインに沿った体制整備を行っている					5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・健康経営推進企業の認定を取得している ・メンタルヘルス対策を実施し、従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じて、生産性の向上に取り組んでいる			3					8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	・ペーパーレス化の促進や裏紙の利用で、紙資源の使用量削減に取り組んでいる										11.6	12.4 12.5		14.1				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・グリーン経営認証を取得し、電力使用量や温室効果ガス排出量を把握し、社内報で周知する等使用量削減や排出量抑制に取り組んでいる ・倉庫・事務所の電球のLED電球への切替えを促進し								7.3				13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・電動フォークリフトへの切替えを促進している								7.2 7.3			12.4	13.3					

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる			3.9			6.3					11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している						6.6										15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4 6.6												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している			3.9			6	7					12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している											12.6							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・太陽光発電装置を設置し、再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる							7.2					13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15			
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している			3.9									12.4						
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している										9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・グリーン経営認証を取得し、全社的な省エネへの取り組みを行っている ・倉庫設備の導入に際して、環境に配慮した製品を優先的に選択している							6				12	13	14	15			
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・定期的に地元の大学からインターンシップを受け入れている ・地域の小学生の社会見学を受け入れている ・県内の学校を卒業した学生を積極的に採用している				4						9	11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・みなと清掃活動へ参加している				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 長崎県佐世保市稲荷町3番7号

名称： 西九州倉庫株式会社

代表者： 代表取締役社長 辻 宏成

登録年月日： 令和5年6月30日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	倉庫・事務所照明のLED化や空調機器の使用基準に沿った適正な使用で電力使用量削減を図る。(2021年度実績：1,161MWh)	電力使用量を2030年度までに10%削減する。	2023年度実績：1,090MWh (6.1%削減)
✓環境 □社会 ✓経済	荷役機械の電氣化やアイドルングストップ車への切替えでガソリン使用量削減を図る。(2021年度実績：3.3kℓ)	ガソリン使用量を2030年度までに20%削減する。	2023年度実績：3.2kℓ (3.0%削減)
✓環境 ✓社会 ✓経済	社内のデジタル化を促進し、紙資源の使用量削減を図るとともに、業務効率化による働き方改革、多様な人材の登用を促進する。	紙資源の使用量を2030年度までに25%削減するとともに、女性・高齢者・障がい者の雇用者数を増やす。	女性：6名→7名(+1名) 高齢者：5名→7名(+2名) 女性管理職：0名→1名(+1名)